

(3) 市川海岸塩浜地区護岸改修事業(平成 17 年～)

○円卓会議の三番瀬再計画案をふまえて、平成 17 年より市川海岸塩浜地区 護岸検討委員会が設立され、護岸改修事業が始まりました。

○現状の護岸は、老朽化や地盤沈下等により安全性が保たれていないため、緊急を要する先発事業としてスタートしました。

○緊急を要する“海岸高潮対策事業”として行いますが、生態系にも十分配慮して進めることとされました。

～護岸改修の目標～

<p>護岸改修の目標 1 護岸の安全性を確保すること</p> <p style="text-align: center; color: orange;">= 防 護</p>	<p>護岸改修の目標 2 海と陸との自然な連続性を 取り戻すこと</p> <p style="text-align: center; color: green;">= 生態系への配慮(環境保全)</p>	<p>護岸改修の目標 3 人と三番瀬の健全なふれあいを 確保すること</p> <p style="text-align: center; color: blue;">= 利 用</p>
---	--	---

○“防護”、“環境”、“利用”の調和のとれた海辺の創造を目指すため、「順応的管理の手法」を取り入れて、工事中に生物や海底の地形を調査して、必要に応じて、工事の手順や構造のより良い工夫を行うこととしています。



○平成 18 年度の護岸検討委員会による検討状況

平成 17 年度の護岸構造検討結果

現在の護岸の海側に、石を積み上げて地盤を高くしていますが、これは、台風などの異常な潮位の上昇や、高い波に対して、陸側を安全に守るために考えられた構造です。

H17 年度の護岸検討委員会の護岸改修イメージ

平成 18 年度の護岸構造検討結果

H18 年度の護岸検討委員会の護岸改修イメージ

○曲線的な遊歩道にする
○石積みの上を緑化する
○水際の石は整然と並べないで、生物が付きやすくする

(4) 護岸の一部施工状況

アンケート対象範囲では、いつ発生してもおかしくない高潮や大規模地震に備え、平成 18 年より現地の改修工事に着手しています。



それでは、別紙のアンケートにお答えください。